

子どもの居場所講演会 & 子ども食堂キッチンデモ

～子どもを取りまく環境と居場所づくりの実践者のお話、ワークショップ～

日時:2022年11月6日(日) 13:30~16:30

場所:BUKATSUDO (みなとみらい線「みなとみらい」駅徒歩3分、
JR市営地下鉄「桜木町」駅徒歩5分)

横浜市西区みなとみらい2丁目2番1号 ランドマークプラザ 地下1階

定員:50名(親子参加は5組まで)

URL:<https://bukatsu-do.jp>

子ども食堂や学習支援などの子どもの居場所に関する活動は全国に広がり、横浜市でも多くの方々が支援に取り組んでいます。昨今では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多様化する子どもたちへの支援も大きな変化が起きています。

本講演会では、「子どもたちにとって居場所とは何か」「子どもたちの環境がどのように変化しているのか」といった課題に向き合いながら、子どもの居場所づくりに取り組む実践者のお話や活動の様子、コロナ禍での運営方法などを紹介します。現在居場所づくりに取り組んでいらっしゃるみなさまの課題の解決、これからの居場所づくりのヒントとなるようなプログラムを実施します。キッチンデモでは防災備蓄品などフードバンク提供品を使った調理の実例も紹介します。

【プログラム】

- ▶ 基調講演: 米田佐知子氏 (こどもの未来サポートオフィス)
- ▶ 事例発表: 対話形式にて (コーディネーター六角薫 セカンドリーグ神奈川)
高見広海氏 (長後こども食堂)
平田ミヤ子氏 (菅田町はるみやホーム)
高内佐枝子氏 (かえでこども食堂)
- ▶ 子ども食堂デモ: 福永えみ氏 (となりのれすとらん)
- ▶ グループ別交流: 登壇者と参加者によるディスカッション

【申込方法】 下記 URL、または、メール、FAX、お電話にてお申し込みください。

【申込み先】 ●URL: <https://onl.tw/ms7JFmK>

●メール: sl-kanagawa@pal.or.jp

●電話: 045-470-5564 ●FAX: 045-470-4178

【申込期日】 2022年10月31日(月) ※先着50名

(満員になり次第受付終了となります)

【問合せ】 特定非営利活動法人セカンドリーグ神奈川

〒222-0033 横浜市港北区新横浜 3-18-16 新横浜交通ビル 3階

【ホームページ】 <https://www.sl-kanagawa.org>



《基調講演 講演者》

米田佐知子 YONEDA Sachiko プロフィール

- ・ 子どもの未来サポートオフィス代表
- ・ 関東学院大学非常勤講師（NGO 論）



大阪出身。1996年、子育て当事者によるまちづくりNPO子育てまち育て塾を立ち上げ、2001年に横浜市域、神奈川県域の子育て支援ネットワークをコーディネート。川崎ボランティアセンター非常勤職員、かながわ県民活動サポートセンターアドバイザー、まちづくり情報センターかながわスタッフなど、NPOの中間支援活動に関わり2001年以降、寄付財源でNPOへ助成を行う 神奈川子ども未来ファンドの設立運営に参画、事務局長として10年間、ファンドレイジング・助成プログラムの実務を行う。2013年に「子どもの未来サポートオフィス」を立ち上げ、子ども・子育て支援の社会資源をつなぎ、CSRやNPO等の支援を行う。財団・企業・行政の各種助成プログラム等の選考委員、神奈川県総合計画審議会計画推進評価部会委員、かながわ協働推進協議会副座長、埼玉県こどもの居場所づくりアドバイザー（R1）、横浜市子どもの居場所づくり支援アドバイザー（R1）など。横浜こども食堂ネットワーク・神奈川こども食堂・地域食堂ネットワーク世話人。NPOの組織運営、資金調達、コミュニティカフェ、こども食堂等に関する講座講師を多数務める。

《子どもの居場所づくりに取り組む実践者》

写真：子どもの居場所の例（県内の団体から提供）

高見広海 TAKAMI Hiromi 【長後こども食堂】

赤ちゃんから子ども、学生、おとな、お年寄りの方までみんなのための居場所”長後こども食堂”！！

毎月第一日曜日と毎週水曜日に開催！生活困窮者への支援活動も行ってます。



平田ミヤ子 HIRATA Miyako 【菅田町はるみやホーム】

週一回、特性のあるお子さんや、ママ達、地域の方がホッとできる居場所を自宅で開催しています。

心のケアやサポート、癒やしになる場の提供と共に、様々な分野の方とオンライン、リアルでの繋がりから、個々の違いを認め合い、興味関心を大切に体験の場として活動しています。



高内左枝子 TAKAUCHI Saeko 【かえでこども食堂】

2021年12月19日、横浜市鶴見区佃野町で、かえでこども食堂を喫茶ラズベリーにて開始しました。私達は特別ではなく、気軽にこられる、おいしいちゃん、おばあちゃんの家みたいに温かい場所を作りたい。その思いで、ボランティアさんと力を合わせて活動しています。



福永えみ FUKUNAGA Emi 【となりのれすとらん】

2015年に会ったメンバーと、2017年に『子ども・地域まぜこぜ食堂となりのれすとらん』を始めました。昔はとんりにお節介なおばちゃんがいた様に、となりのれすとらんはまさに老若男女・障害があっても認知症などがあっても、家族の様にみんなで楽しくをモットーに活動しております。

